

報道関係各位【ご案内】

2011年7月4日
社団法人 日本分析機器工業会

分析展 2011/科学機器展 2011 合同展 主催 サイエンスセミナー

宇宙(そら)からのシグナル、深海(うみ)からのメッセージ
—オーロラと海底探査—

社団法人 日本分析機器工業会(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-10-1 電話 03-3292-0642、会長 服部 重彦=(株)島津製作所代表取締役会長)と日本科学機器団体連合会(〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-8-5 電話 03-3661-5131 会長 矢澤英人(株)ダルトン 代表取締役社長)が主催する分析展 2011/科学機器展 2011 合同展は9月7日(水)から9月9日(金)まで、幕張メッセ 5、6、7、8 の 4 ホールを使用して開催します。キャッチフレーズは「来て、見て、わかる 確かな技術」。(10時から17時、入場無料)この合同展の事前入場登録が7月1日(金)から WEB 上で開始されます(<http://www.jaimasis.jp/>)。

毎年、ご好評をいただいている、一般の方々を対象に自然、環境と分析技術の関係をわかりやすく講演する恒例のサイエンスセミナーを本年も開催します。

日時、内容は以下の通りです。

9月7日(水)、14時から16時、ホテルニューオオタニ幕張2階「麗の間」、参加費:無料
定員:200名、事前申し込み優先となります。宇宙(そら)からのシグナル、深海(うみ)からのメッセージ —オーロラと海底探査— と題し二つのテーマで開催します。

神秘的で目を奪われる多くの映像を交えながらのお話は、本年もご満足いただけるものと思います。

一つは「オーロラの神秘と南極観測隊。美しき光に魅せられて」。講演は、国立極地研究所教授・副所長の佐藤夏雄先生です。オーロラの形や動き、起こる場所や仕組み、そして、南極の厳しく、かつ美しい自然の下で1年間越冬して生活する南極観測隊の姿が豊富な映像で紹介されます

二つ目は、「海からのぞく地球の姿」。講演は、独立行政法人海洋研究開発機構 地球内部ダイナミクス領域 技術研究員 笠谷貴史先生です。地球表面積の7割を占める大海原の下には未だ解明されていない謎が多くあり、調査船や潜水艇、観測機器を駆使し、その謎を明らかにする試みが日々続けられています。海底地形や地球内部を可視化する観測技術を含め、海底映像を交えながら、今、海の下で起こっている様々な現象が紹介されます。

サイエンスセミナー参加申込はホームページ(<http://www.jaimasis.jp/>)またはファックスにての事前申し込みをお願い致します。

【お問い合わせ先】

(社)日本分析機器工業会

合同展 2011 事務局 事務局長 濱崎(はまざき)/小川(おがわ)

電話(03)3292-0642 まで、ご遠慮なくお問い合わせください。